

ドキドキ発見！ 発掘調査って何だろう？

ドキドキ発見！ 身近なところに遺跡が！！

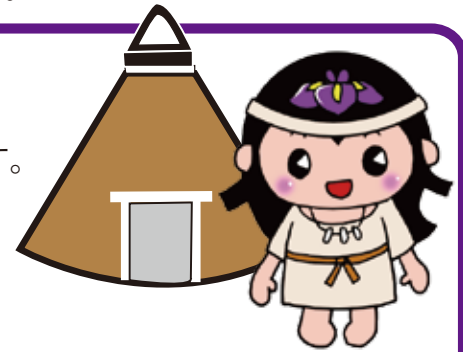
明和町には、みなさんの身近に多くの遺跡が存在しています。その数、ナント、700 以上！遺跡とは、私たちのご先祖さまが生活した跡で、土に埋もれていて簡単にはわかりません。しかし、発掘調査を行うことで、当時の明和町の環境や生活の様子を知ることができます。発掘調査をしていると、「どうしてここに遺跡があることがわかるん？」、「発掘ってどんなことすんの？」など様々な質問を頂きます。今回は、遺跡の見つけ方や発掘調査の方法などをご紹介します。

～遺跡にはさまざまな種類があります～

一言で遺跡といってもさまざまな種類があり、遺跡の性格が違います。

- さんぶち
・散布地：土器や石器などの遺物が採集される場所
- しゅうらくあと
・集落跡：人々が集まって生活をしたムラのあと（金剛坂遺跡など）
- かんがあと
・官衙跡：昔の役所などがあったあと（史跡斎宮跡）
- じょうかんあと
・城館跡：城や武士の館があったあと（池村城址など）
- しゃじあと
・社寺跡：神社やお寺があったあと（竹神社跡、安養寺跡など）
- こふん
・古墳：古墳時代に築かれたお墓（県史跡坂本古墳群など）
- せいさんいせき
・生産遺跡：土器や瓦などの物資を作る工房などのあと
（史跡水池土器製作遺跡など）

※貝塚、都城跡、横穴墓は町内ではみつかりません。



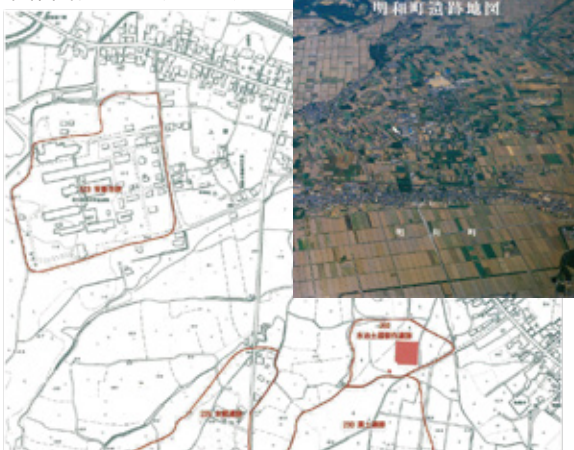
令和2年7月時点

散布地・集落跡		官衙跡	古墳	城館跡
119		1	539	10
社寺跡		生産遺跡	その他の墓	その他
寺院跡	神社跡			
26	13	9	2	5

土器、発見！



めいわちよういせきちず
明和町遺跡地図
※図書館などで読めます



～遺跡の見つけ方、名付け方～

遺跡を見つけるためには、さまざまな方法があります。

- ①：土器や石器などのかけらが落ちていないか、人工的な地形の変化がないか、歩いて探し回る。
（※他人の土地に無断で入ったり、土を掘り返すことはダメ！）
- ②：地名を参考にする。
- ③：過去の郷土資料や地元の人への聞き取り。
- ④：古い地図や古い航空写真を参考にする。
- ⑤：地形や自然環境、土地利用から推定する。
- ⑥：これまでの発掘調査の成果を参考にする。
- ⑦：遺跡の有無を確認するための試掘調査しくつちようさを行う。
- ⑧：レーザー測量などによる特定。



→これらの結果、新たに遺跡が発見されると、遺跡名と遺跡の範囲を決めます。遺跡名は、その土地のこあざめい小字名を参考に付けられることが多いです。

発掘調査ってなんだろう？ ～現場編～

じゅうきくっさく

① 重機掘削



② 検出



めい姫も発掘に参加しているよ！

③ 遺構発見！



※黒色の土の部分が遺構です

④ 遺構掘削



⑤ 実測



完成した実測図

⑥ 撮影



⑦ 現地説明会



調査でわかった成果を住民さんに説明します。

発掘調査ってなんだろう？ ～整理編～



① 洗浄

せんじょう

③ 復元

ふくげん

いろぬり

印刷製本

トレース

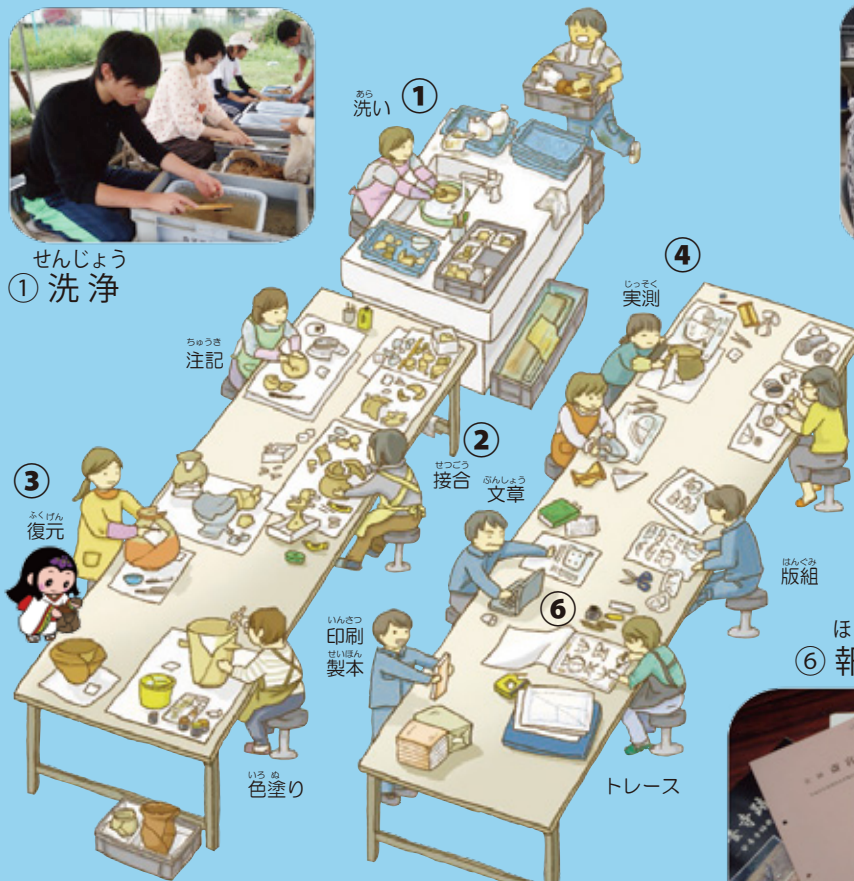
文章

拓本

ほうこくしょかんこう

きかくてんじ

企画展示



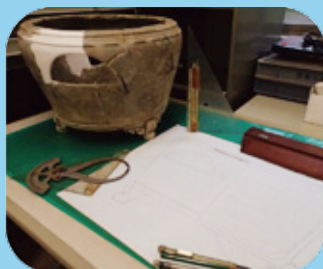
② 接合

せつごう



③ 復元

ふくげん



④ 実測



⑤ 撮影

さつえい



⑥ 報告書刊行



⑦ 企画展示

きかくてんじ

イラストについては三重県埋蔵文化財センター発行『発掘って何だろう？』より引用しました。